

【言語文化教育研究学会 第 65 回例会 ゼロビギナーと対話するとは—ことばを教えることが目的ではないなら、何が教室活動の目的なのか—】(2020 年 3 月 15 日)オンライン資料 細川英雄

ヴェネツィア 5 日間連続ワークショップの記録

ヴェネツィア・カフオスカリ大学の 2016 年 Action Research Zero Workshop の第 1 週目より

第 1 日目

「こんにちは」丸く囲んだ机といすの中で、こうあいさつした後、本棚の本を一冊引き出して、「これは何ですか」と聞いた。ところが、何のことなのかだれもわからない様子だ。しかたなく、「これは本ですね」と苦笑しつつ、担当のマリオッティさんに問いかけると、「はい、そうですね、本です」と答えてくれる。そこで、もう一度、「本ですか」と片手で持ちながら示すと、ようやく一人の学生がにっこり笑って、「はい、本です」と答えてくれた。(序文より)

第 2 日目 「あなたは何が好き」という問いから

細川：アイシャさんはどうですか。で、アイシャさん、話してください。

Aisha：私は

細川：(みなさん、)よく聞いて

Aisha：私は動物好きです と 猫の絵描くこと好きです。

細川：アイシャさんは動物が好きです。ねこの絵を描くことが好きです。M さん、猫はイタリア語で何ですか。

M：Gatto

細川：Gatto? 猫はイタリア語で gatto です。P さん、もう一度、アイシャさんは何が好きですか。話してください。

P：アイシャさんは動物が好きです。

細川：そうですね。動物が好きです。どんな動物が好きですか。

P：猫です。

細川：そう、猫ですね。はい。で、アイシャさんは猫の何を、猫の何が好きですか。

Aisha：??

細川：猫の絵を

P：猫の絵を、が好きです。

細川：そうです。猫の絵が好きです。猫の絵を描くことが好きです。L さん、もう一度アイシャさんは何が好きですか。

L：アイシャさんは 動物 動物ことが好き。

細川：動物が好きです。そして、アイシャさんは猫のことが好きです。

...

Aisha：わたしは猫がすきです。猫の、猫の絵を、描くことが好きです。

【言語文化教育研究学会 第 65 回例会 ゼロビギナーと対話するとは—ことばを教えることが目的ではないなら、何が教室活動の目的なのか—】(2020 年 3 月 15 日)オンライン資料 細川英雄

第 3 日目 対話のあとのアイシャの文章から

動物が悪を知りませんのでわたしは動物がすきです。私は猫が二匹います。レオもレイもおおき男の猫で。両方とも虎猫で黄色の目を持っています でもレオはレイと違って白いを持っています。

ワークショップのテーマと課題

15 人の参加者の作文のタイトル (かな表記を漢字表記に調整したものあり)

星を見ることと私
パリのルーブル美術館と私
ストーリーを書くことと私
第 1 次世界大戦と私 / 空手と私
バスケットボールと私
現代アートと私
ファンタジーと私
ドラムと私
描くことと私
ファッションと私
指輪物語と私
私の猫と私
ロックと私
日本の詩と私

参加した 15 人は、一人の脱落者もなく、それぞれ 1 週間でほぼ 10 行ほどの、字数にして 400 字前後の以上の作文を書きあげた。12 月のワークショップの終了時点で完成されたレポートが参加者の許諾を得てオンラインで公開されています。

<http://ichishima.thyme.jp/report1.html> (日本語)

https://sites.google.com/unive.it/marcellamariotti/home#h.p_PEGSVn7cVSly (英語)

*この資料は、2016 年 9 月から 12 月の間、Marcella MARIOTTI (ヴェネツィア・カフオスカリ大学准教授)と市嶋典子(秋田大学准教授)の企画によってヴェネツィア・カフオスカリ大学で行った「Action Research Zero (ARZ)」共同研究活動より作成されている。